

令和6年度 社会科 歴史的分野 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科 歴史的分野 第3学年の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

第3学年年間指導計画(評価規準)

★ 知は、知識・技能      思は、思考・判断・表現      主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	第5章 二度の世界大戦と日本 第3節 戦争に向かう世論 ◇節の問い◇ 世界恐慌後、日本や世界の動きはどのように変化したのだろうか。	○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ、政党政治が行きつまりをみせ、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと、中国との戦争が長期化した経緯を理解させる。	知 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	課題・ノート 定期考査
			思 経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主 経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシートの記述 授業観察
4	第6章 現代 現在に続く日本と世界 第1節 敗戦から立ち直る日本 ◇節の問い◇ 第二次世界大戦後、日本の改革はどのような目標の下に進められたのだろうか。	○戦後の混乱のなかで、国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に、男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ、国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。	知 日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	課題・ノート 定期考査
			思 諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主 日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシートの記述 授業観察
5	第2節 世界の多極化と日本の成長 ◇節の問い◇ 復興を遂げた日本は、国際社会でどのような役割を担うようになったのだろうか。	○日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解し、日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。	知 高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	課題・ノート 定期考査
			思 政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシートの記述 定期考査
			主 日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシートの記述 授業観察

5	<p>第3節 これからの日本と世界  ◇節の問い◇ 冷戦終結後、日本と世界はどのように変化したのだろうか。</p>	<p>○冷戦終結後も国際社会には、民族や宗教をめぐる対立、国家を超えた地域統合、地球環境問題、近隣諸国との間の領土をめぐる問題、日本人拉致問題など、などさまざまな課題が存在していること、それらを解決するためのさまざまな人々の努力が重ねられていることに気づかせる。</p>	<p>知 冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <hr/> <p>思 政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <hr/> <p>主 グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>課題・ノート 定期考査</p> <hr/> <p>ワークシートの記述 定期考査</p> <hr/> <p>ワークシートの記述 授業観察</p>
---	---	---	---	--